

「あいさつ・くつならべ・うつくしいことば」を実践しよう！（塩竈市全小中学校で取り組んでいます！）

学校だより

# うらなみ



令和元年  
5月27日

NO.2

塩竈市立浦戸小中学校

## 「令和」最初の運動会 ～ 一心同体 浦戸魂2019 ～

5月11日（土）は、雲一つない晴天に恵まれる中、「令和」になって初めての浦戸小中学校運動会が開催されました。

今年は「即位の日」に伴う10連休がありましたが、運動会実行委員会を中心に昨年度末から準備を進め、練習に取り組んできました。雨のため思うように練習ができない日もありましたが、児童生徒は“一心同体 浦戸魂2019”のスローガンを掲げ、一人一人がすばらしい運動会にしようと、紅組も白組も団結して最後まで頑張る姿が見られました。



入学して初めての「徒競走」。大きな声援を受けて、最後まで一生懸命走りました。



中3にとっては、最後の「徒競走」。悔いが残らないように、精一杯走る姿が印象的でした。



「玉入れ」では、阿部かおる議員様、高橋睦磨教育長様にご協力をいただき、地域の方と一緒に盛り上がりました。



「紅白対抗綱引き」では、保護者・地域の方々と一緒に一心同体となって引き合いました。



本校独自の競技「簾っかけ競争」。親子で協力して速さと丁寧さを競いました。



伝統の「浦戸なまこリレー」では、飛び入りの実況も花を添え、大いに盛り上がりました。

今年の運動会も多くの方々からご協力をいただきました。伝統の「浦戸なまこリレー」では、寒風沢の土井謙一郎さんに高価ななまこを提供していただきました。また、保護者有志の方々には、前日から泊まり込み、早朝作業に協力していただきました。献身的なご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

今後とも、保護者の皆様、地域の方々と共に、学校行事等に取り組んで参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

# みんなをリードした紅白応援リーダー

紅組、白組がそれぞれアイディアを出し合った「応援合戦」。応援団長を中心に何度も話し合いをしたことで、すばらしい応援合戦ができました。

小学生から中学生までをまとめるのは大変だったと思います。応援団長さん、副団長さん本当にご苦労様でした。

<紅組応援団長 小高陽里君(左)>



迫力のある声と心をつにした応援、きびきびとした態度が印象的でした。

<副団長>  
本橋蘭丸君  
行田望乃さん

<白組応援団長 宮崎七星君(右)>



大漁旗を巧みに操りコミカルなダンスで会場の皆様の笑顔を誘いました。

<副団長>  
菅井日心さん  
本郷幸陽君

## おかげさまで 今年もアサリ採取ができました!



5月22日(水)、前日の雨で順延となったアサリ採取を行うことができました。

前日の雨が嘘のように、晴れ渡る青空の下、長浜をお借りして、たくさんのアサリを採らせていただきました。

始めの会の後、児童生徒はそれぞれ準備してきた熊手とバケツを持って、縦割り班ごとにアサリ採りを始めました。

すぐに、「あったよ。ここにもあった。」「いるいる、たくさんいるね。」と次々にアサリを見つけて喜ぶ子どもたちの声が、浜全体に響きました。

児童生徒は、自然の恵みに感謝し、お世話になる浜辺を少しでもきれいにしようと事前に浜の清掃活動を行いました。

浜までの山道の下草刈りなど、子どもたちの安全確保ためにご尽力してくださいました、野々島地区組合長 鈴木宏明様、浦戸フェリー事務局長の鹿野正様には、この場をお借りして御礼申し上げます。また、毎年浦戸小中学校のアサリ採取の日まで、アサリ漁をせざるに待っていてくださる島の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

お陰様で、今年も大漁で、**合計78.9kg**のアサリを採らせていただきました。

今後、採ったアサリをそれぞれどんな料理にして食べたのか、まとめていきます。高学年と中学生は、家庭科の学習と関連させながら、しっかり学習していきます。

島の方々と自然の恵みに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。





# 小中一貫教育全体研修会終わる

塩竈市教育委員会では、学力向上を目指して昨年度より「しおがま学びの共同体」による授業づくりを進めています。本年度は、市内のすべての学校で外部講師を招いて授業づくり研修会を開くことになりました。去る5月20日（月）、浦戸小中学校は本年度市内のトップを切って研修会を開きました。

学びの共同体研究会理事の佐藤雅彰先生をお招きして、4校時目は参観授業、5校時目は研究授業を行いました。研究授業では、酒井孝幸教諭が中学2年生の理科の授業を公開しました。仙台教育事務所から2名の先生方、高橋教育長を始めとして塩竈市教育委員会から3名の先生方が見守る中、中学2年生の生徒たちは、原子・分子のマグネットを使って、化学反応式を考えました。そして、自分の考えをグループで語り合い、学びを深めていました。



その後、全教員で「授業を語る会」を行い、生徒たちの発言に基づき、理科の授業について話し合いました。その後、佐藤雅彰先生から、「学びの共同体」による授業づくりについてお話をいただきました。

学びの共同体の授業づくりでは、児童生徒がお互いに分からないことを「分からないから教えて。」と素直に言える関係をつくるのが大切だと学びました。もちろん、友達に頼るだけでなく、自分で努力して調べたり考えたりすることが前提です。

佐藤雅彰先生は、本校の児童生徒が授業に向かう真摯な姿勢と先生方の授業づくりに対する熱心な様子を見て、また浦戸小中学校を訪れたいと話しておられました。

今回の研修会で学んだことをこれからの授業に生かしていきたいと思えます。



# 令和元年度児童生徒会総会終わる



去る5月24日（金）の6校時目に「令和元年度 児童生徒会総会」が行われました。小学5・6年生から中学3年生までが参加し、講堂で行われました。本年度のスローガンは、「皆鬨燃進（かいとうねんしん）～皆で互いに闘志を燃やし、邁進する～」です。「どんな時でも皆で協力し合い、時にはライバルとして認め合いながら皆で高め合って成長していこう」という意味が込められています。

本年度も、スローガンに向かって執行部を中心に、団結して活動していくことを確認しました。